

こどもも あなたも 可能性は無限大!

～受験者へのメッセージ～

教員を目指すあなたに
先輩教員からのメッセージをお届けします。

インタビュー
動画はこちら



“
中高一貫校に通っていたのですが、
そこで出会った音楽の先生にすごく憧れ
て。授業はもちろん、休憩中にも音楽の
ことを教えてもらい、「先生は本当に音
楽が好きなんだな」と。それから私も音
楽が好きになりました。”

宮岡 優吉教諭/中学校



“
小学校の担任の先生から「すごく声が
綺麗だね」と言われて嬉しかったのを覚
えています。その一言がきっかけで放送
部が有名な高校に入学し、全国大会に
も出場することができました。自分の人
生を振り返った時に「あの先生の一言
が人生のターニングポイントだったな」
と。私も児童の良さや可能性を見つけ
て、伸ばしていける人になりたいと思
い、小学校の先生になりました。”

櫻井 若葉教諭/小学校



“
児童と接する密度の濃
さは特別支援学校なら
では。児童の成長を近
くで見られるのはとても
嬉しいです。”

上山 貴士部主事/特別支援学校



“
生徒から、勉強や進学、人間関係
など色々な悩みを相談されます。
一人一人にあったアドバイスをす
るのはとても難しいですが、生徒
の状況や相談内容に応じてアド
バイスをしています。”

山口 陽一朗教諭/高等学校



“
保護者の方から、学校で学んだこと
が家でもできるようになったと聞い
た時に、とてもやりがいを感じまし
た。児童、保護者、同僚から頼られ
る先生でたいです。”

肥後 千晶教諭/特別支援学校



“
先生は、一年を通して児童
の成長を間近で感じるこ
とができます。児童の才能や
可能性を伸ばしていけるこ
とが嬉しいです。”

藤原 由佳教諭/特別支援学校



未来を創る

— こどもの あなたの 広がる可能性 —



広島で学んで良かったと思える
広島で学んでみたいと思われる
日本一の教育県の実現

広島県教育委員会

「学びの変革」の深化

広島県は全国に先駆けて、主体的な学びの実現を目指す、教育改革「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を進めています。「生きるって何?」「何のために学ぶの?」といった「本質的な問い」を軸に、子供たちの探究的な学びを大切に授業づくりに取り組んでいます。未来を担う子供たちを育てるために行っている、広島県の特徴的な教育活動を紹介します。



探究的な学びの充実

1
探究の過程を繰り返し
地域の未来を拓く



保護者や地域住民等で構成する学校運営協議会に生徒も参加し、学校と地域が一体となり、「一年間の学びを通して、どのような力を付けたいか」を共に考えていきます。

自分たちが考えた企画等を、地域の方や行政、企業の担当者に提案しています。専門的な新たな視点での助言が生徒の探究心を高めます。



三次市立布野中学校では、地域に学び、地域を生かす探究的な学びを進めています。「地域の良さを知ってもらいたい」と、特産物を使ったスイーツを地元企業と共同で開発・販売したり、多くの方に知ってもらうためのプロモーション活動に取り組んだりしています。探究の過程で新たな問いが生まれ、次の探究につながる。この発展的な繰り返しによって、子供たち主体の探究的な学びが展開されています。



スイーツを販売することで終わらず、来場者に実際にインタビューし、ニーズ等を調査します。そこで生まれた問いが、新たな探究につながっていきます。

2
総合的な探究の時間
×
キャリア教育
×
STEAM教育

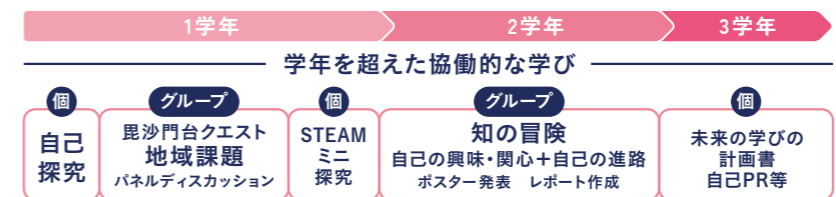


第1学年では、実際に地域に出て得た情報を基に課題を発見し、発見した課題に対して、クラス内で解決策を考えます。考えた解決策を地域の方に提案し、ディスカッションをすることで、多面的・多角的に物事を考える力を身に付けています。

県立安古市高等学校では、自己の在り方・生き方を考えながら、地域や社会、自己の進路等に関する課題を発見し解決する探究的な学びを展開しています。課題の解決に向け、各教科等の学習を活かしながら、STEAMの視点で教科等横断的な学習を推進しています。探究活動が自らの進路につながっていくようにカリキュラムが構成されています。



総合的な探究の時間 教育課程



第2学年では、取り組みたいテーマを各自で設定し、似たテーマ設定をした生徒同士が、文系・理系のクラスの枠を超えてグループをつくり、探究活動を行っています。3年生や大学生・大学院生からの助言をもらっています。これらの活動を通して、課題の解決策を論理的・批判的に考え、考えを整理しながら適切にまとめる力を身に付けています。

個別最適な学び

～多様な「学びの選択肢」の提供～

児童生徒一人一人の学習進度や能力、関心等に応じて、多様な学びの選択肢を提供することで、自己決定・自己調整する場面を生み出し、児童生徒の主体的な学びを促す「個別最適な学び」に取り組んでいます。

1
学びに「選択肢」と
「自己決定」を



尾道市立高西中学校では単元内自由進度学習を行っています。単元を通して考えたい問いや身に付けたい力、単元計画などを生徒と共有します。生徒は自分で立てた学習計画に沿って、教科書、プリント、学習コーナー等の多様な選択肢から自分に応じた学び方を選択・決定して学んでいきます。



学び方に応じて、学ぶ場所や学習形態(個人、グループ)も生徒自身が決め、学びを進めています。

2
個々の状況に応じた
学びを支援

県内には、集団での学習になじみにくい不登校等児童生徒が安心して生活・学習できる居場所として「スペシャルサポートルーム(SSR)」を設置している学校があります。「多様な選択肢と自己決定の機会の提供」をキーワードに、児童生徒個々の状況に応じて、安心して学んだり、生活したり、さらには成長できる居場所づくりを進めています。



福山市立新瀬小学校SSR

児童生徒が行ってみたいと思える、また、リラックスして生活できる雰囲気づくりを心がけています。



東広島市立高美が丘中学校SSR

コミュニケーションスキルを高めるためのゲーム活動、他校とのオンライン交流会などに取り組んでいます。

特別支援学校の実践

県立特別支援学校では、幼児児童生徒の障害の状態や発達段階に応じたきめ細かな指導・支援に取り組んでいます。

「地域参加」
多様な人々と協働し、
地域に貢献する



県立黒瀬特別支援学校では、企業とコラボして開発したマフィンとコーヒーを提供する出張カフェに取り組んでいます。多様な人々とのつながりの中で、「人とつながる喜び」「地域に貢献できる喜び」を感じ、自己肯定感を高め、自立と社会参加に必要な力を身に付けていきます。

「多くのお客さんに喜んでほしい」という思いで、マフィンの改良や大量生産にも挑戦しています。



市役所での出張カフェ。お客様との関わりの中で、生徒は働く価値ややりがいを実感しています。

教員の一日

イキイキと働く先輩教員の現場に密着！
児童生徒たちとのふれ合いや一日の流れがわかると
先生として働く姿がイメージできるかも。

授業

児童生徒が主体的に、かつ楽しく学べるように
様々な工夫をし、授業を行っています。



教材研究、 提出物の 確認等

授業のない時間や放課後は授業の準備や教材研究を。
提出物の確認も行います。



研修

学級経営や指導方法について、校内研修で学んだり、
他の先生に相談したりします。



小学校教諭の とある一週間をチェック！

月	火	水	木	金	土	日
7:50 出勤	7:50 出勤	7:50 出勤	7:50 出勤	7:50 出勤		
体験学習 <small>地域のゲストティチャー に来ていただき、伝統工 芸品の作業を体験。</small>	他の先生の授業を見て、自 分の指導を振り返ります。	授業の進捗や今後の取 組について共有。ここで よく相談しています。	学年会	校外学習	友人と お出掛け	お買い物
18:10 退勤	17:50 退勤	17:15 退勤	18:30 退勤	19:45 退勤		会食 (同期の先生と)
帰宅後は、好きなアニメを観たり、ゆったり入浴したりしてリフレッシュしています！						

小学校教諭のとある一日

7:50	出勤	登校の見守りは地域の方が協力してくれています。
8:15	業務開始 朝の会	
8:40	授業	ノートの丸付けや教材研究を。
9:30	授業(専科)	
10:15	大休憩	大休憩は、子供たちとしっかりふれ合うようにしています。
10:30	授業	
12:10	給食	
12:55	昼休憩	資料の印刷や配付物の準備、 教員の準備などは、スクール・ サポート・スタッフをお願いし ています。
13:15	掃除	
14:30	授業	
15:10	下校指導 放課後の時間 ・教材研究 ・打合せ ・事務作業等	教科指導や生徒指導で悩ん だときには、放課後、同じ学 年の先生や同じ教科の先生 に相談するようにしています。
17:20	退勤	

中学校教諭のとある一日

7:50	出勤	
8:15	業務開始 朝の会	
8:30	読書タイム	今日は1年と2年の授業があり ます。
8:40	授業	
10:30	打合せ	資料の印刷や配付物の準備、 アンケートの集約などは、 スクール・サポート・スタッフ にお願いしています。
12:15	給食	
13:00	掃除	
13:20	授業	
14:30	教材研究等	部活動がない毎週水曜日に は、教材研究や打合せをし ています。
16:00	放課後の時間 ・教材研究 ・打合せ ・事務作業等	教科指導や生徒指導で悩ん だときには、放課後、同じ学 年の先生や同じ教科の先生 に相談するようにしています。
17:30	退勤	

※定時に退勤した日の一日

教員採用Q&A

教員採用に関する質問にお答え！
ぜひ参考にしてみてください。

Q 福利厚生について 教えてください。

A 採用されると、公立学校共済組合の組
合員になります。病気やけがをして病院
等で診察を受けたときの医療給付や休
業をした時の手当金、退職後の年金が
支給される他、住宅等の各種貸付け等
の福祉事業も受けることができます。
また、公立学校共済組合の組合員にな
ると、健康の保持増進、元気回復等を
目的とした事業として、人間ドックやメ
ンタルヘルス相談、健康づくりのセミ
ナーなどがあります。

Q 通勤により引越しが 必要となった場合、 入居等の相談はできますか。

A 教職員用の公舎があります。詳しくは採用決定
後に教育委員会や学校へご相談ください。

Q 初任給はいくらですか。

A 給料月額や教職調整額に加え、地域手当や
教員特別手当を含めた額が毎月の給料とな
ります。また、給料月額は経歴などに応じて
加算されることがあります。その他にも、期末
勤勉手当(ボーナス)や通勤手当、住居手当
などが条件に応じて支給されます。

Q 休暇等の制度について、 教えてください。

A 年次有給休暇の他、特別休暇及
び介護休暇等があります。若年層
職員の健康保持等のための厚生
計画が新たに導入される等、休
暇等の制度が充実しています。

(例)新卒者の場合(令和5年度)

令和5年12月現在

	大学院修了	大学卒
給料月額	249,299	229,545
教職調整額	9,971	9,181
地域手当	8,296	7,639
教員特別手当	3,000	2,600
月額合計	270,566	248,965

年額合計
約415万円
(内ボーナス約90万円)

年額合計
約382万円
(内ボーナス約83万円)

妊娠や出産・育児等、サポート体制も充実 休暇や休業制度を紹介

妊娠・出産・育児に関する休暇・休業(一部)

出産休暇	出産予定日8週間前から、出産日の後8週間まで(女性のみ)
育児休業	子が3歳に達するまで(給与支給なし)
育児休暇(育児時間)	1日2回、各45分
育児短時間勤務	週19時間25分～24時間35分の短時間勤務(勤務時間に応じて給与支給)
早出遅出勤	1時間30分の範囲内で勤務時間を繰上げ・繰下げできる。
NEW 出生支援休暇	不妊治療を行うため、職員1人につき最大1年(給与支給なし)

※令和6年4月現在。上記以外の制度についてはHPをチェック。



くわしくは
こちら

学校における働き方改革

広島県では教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備や、仕事とプライベートが両立できるサポート体制の充実等、様々な取組を進めています。

目標・成果指標

- 子供と向き合う時間が確保されていると感じる教員(管理職を除く)の割合80%以上
- 在校等時間から、正規の勤務時間※を除いた時間を原則年360時間以内及び月45時間以内 ※正規の勤務時間は7時間45分

学校における働き方改革取組方針(県立学校)

取組の柱

- 学校・教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備
- 部活動指導に係る教員の負担軽減
- 学校における組織マネジメントの確立
- 教職員の働き方に対する意識の醸成

令和5年度「働き方改革」取組事例

スクール・サポート・スタッフの配置

印刷業務や資料・書類整理等の教員業務を補助するスクール・サポート・スタッフの配置を増やしています。

部活動指導員(市町立)の配置

中学校における部活動の技術指導や試合への引率などを行う部活指導員を増やしています。

県立学校一斉閉庁の実施

夏休み期間中等に一斉閉庁日を設け、教職員の休暇等の取得を促進しています。

・夏季一斉閉庁

お盆期間の3日間

・冬季一斉閉庁

12月28日、1月4日の2日間

充実したキャリアサポート

広島県教員等資質向上指標に基づき、様々な研修を実施。同期や仲間と共に、夢や目標に向かって自身を高められる環境が用意されています。



初任者研修(校外研修)の様子

最初のサポート

初任者研修(法定研修)

新規採用者(1年目)を対象に、校内研修と校外研修を実施します。校内研修は、示範授業や授業参観、一般研修(授業)、一般研修(授業以外)を行います。校外研修は、15日～17日間、教育センター等で研修を行います。

改めて学ぼう

2年目・6年目研修

授業づくり等に必要の基礎的な知識・技能を身に付け専門性を高めます。授業づくりに加え、カリキュラムマネジメント等を経験年数に応じて身に付けることができます。

経験を積んでレベルアップ

中堅教諭等資質向上研修(法定研修)

教諭キャリア10年を節目として、教科等の専門性や授業を改善する力を更にアップします。教育センター等で8日間、さらに校内において、12日～20日間の研修を実施します。

専門知識を極めよう

教科の専門性に係る研修

専門性や授業力を更に向上させる研修です。地域や校内における指導的役割を担う人材や、教科指導のリーダーとなる教員を育成します。

知りたいことを学ぼう

教育センター専門講座(学びプラス)

教育センターでは様々な講座が開設されており、学校や教職員一人一人のニーズに応じて受講できます。未来を見据えた学びを探究し、校種の垣根を越えて、仲間と共に充実した時間を過ごせます。

Senpai Interview

先輩インタビュー

インタビュー

大窪シゲキ

広島FMラジオDJ。
中高生を応援するラジオ番組『大窪シゲキの9ジラジ』(月～木曜 20:00～22:00)に出演中。



現役で活躍する6名の先輩にインタビュー。広島県の教員の“つながり”について聞きました。

初任者教員に質問!横のつながり&サポート体制



櫻井 若葉 教諭
尾道市立瀬戸田小学校

週1回、拠点校指導の先生に指導してもらっています。また、自分の授業の後に「ここが良かったよ」「これは続けたらいいよ」とアドバイスやフィードバックをもらえるのでありがたいです。お手本を見せてもらいながら、多くのことを学ばせていただいています。



宮岡 優吉 教諭
北広島町立芸北中学校

音楽を担当していますが、音楽教諭は私しかないのでは、他校から教科指導教員に来てもらったり、他校の先生に授業を見せてもらったりしています。初任者研修で、音楽のことや学校のことについて、色々教えてもらって、大変助かっています!



山口 陽一朗 教諭
県立三次高等学校

私の学校には、初任者が3人います。私たち初任者のために校内指導教員と教科担当指導教員がおられ、日々指導していただけます。授業のことはもちろん、1年目としての心構えや仕事の仕方等、指導やフォローを受けられるので、とても心強いです。

県立呉南特別支援学校の教員に聞く、先生たちの絆



上山 貴士 部主事
小学部部主事・11年目

部主事一年目で困っていた時、校長先生から「一年目なんだし失敗してもええんよ」と言ってもらえて、本当にありがたかったです。その言葉のおかげで、様々なことにチャレンジできました。今は、小学部の先生たちをサポートできるよう頑張っています。



藤原 由佳 教諭
小学部第1学年主任・3年目

以前上山先生から言われた「何かあったら私がフォローするから、どんなことにもチャレンジしていいよ」という一言がとても印象に残っています。悩んでいる人がいても、「全員でサポートする」という環境が整っているので、安心して働けます。



肥後 千晶 教諭
小学部第1学年・1年目

一人で決められない性格なので、悩んだり困ったりした時は、色々な先生に自分の考えを伝えながら相談しています。ペアの藤原先生から「うん、やってみよう!」と言ってもらえると自信に繋がりますし、モチベーションも上がります。